

電動自転車

取扱説明書 型番 C3



最初にお読みください

目次

1. 総則	
1.1 本説明書の使用方法	1
1.2 サービス及び技術サポート	1
1.3 自転車の構成部品	1
1.3.1 ハンドル	1
1.3.2 電動自転車	2
1.3.3 仕様	2
2. 組み立て及び調整	
2.1 ハンドル及びステムの組み立て	3
2.2 ペダルの取り付け	4
2.3 シートポスト位置	5
2.4 サドルの高さ	5
2.5 サドルの調整	5
2.6 前輪の取り付け	6
3. バッテリー及び充電器	
3.1 バッテリーの取り付け・取り外し	7
3.2 充電方法	8
3.3 バッテリーの走行距離と寿命	9
3.3.1 走行可能距離	9
3.3.2 バッテリー	9
3.3.3 メンテナンス	9
3.3.4 バッテリー安全上の注意	9
4. ディスプレイ	
4.1 外観	10
4.2 通常操作	10
4.3 ディスプレイ機能と設定	11
5. 推奨事項及びメンテナンス	
5.1 一般的な要件	12
5.2 メンテナンススケジュール	12
5.3 改造の定義と推奨事項	14

1. 総則

1.1 本説明書の使用方法

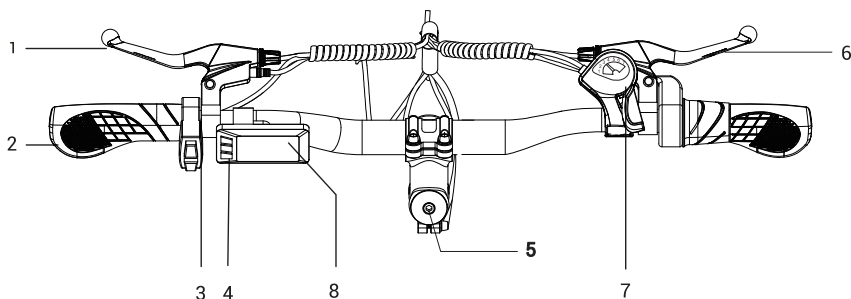
新しい電動自転車に乗る前に、この説明書を十分にお読みになることをお勧めします。従来型及び非従来型の自転車部品に関する安全上の注意と説明を見落とさないことが重要です。これにより、新しい電動自転車についての全体的な理解が得られます。本説明書は、お客様が電動自転車を最大限に活用できるように支援するために作成されており、可能な限り多くの潜在的な質問に答えようと試んでいます。サドルに座る前に、時間を取ってさまざまなセクションをお読みください。

1.2 サービス及び技術サポート

本説明書は、新しい電動自転車の概要として意図されているため、包括的な参考資料ではありません。サービス、メンテナンス、修理に関する情報を含む技術サポートについては、販売店にご相談ください。製品や仕様に関する詳細情報は、当社のAmazonウェブサイトをご覧ください。

1.3 自転車の構成部品

1.3.1 ハンドル



1. 左ブレーキレバー

2. 左グリップ

3. ライトボタン

ベルボタン

4. ファンクションキー

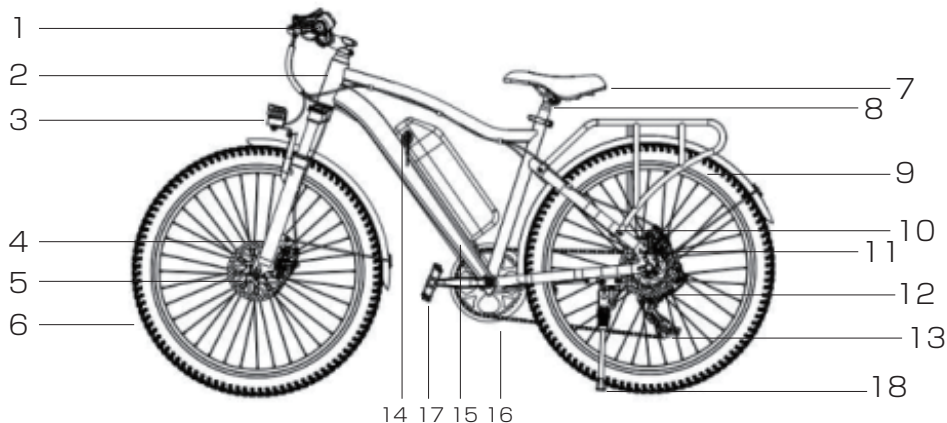
5. 調整式ステム

6. 右ブレーキレバー

7. サムシフター(親指シフター)

8. ディスプレイ

1.3.2 電動自転車



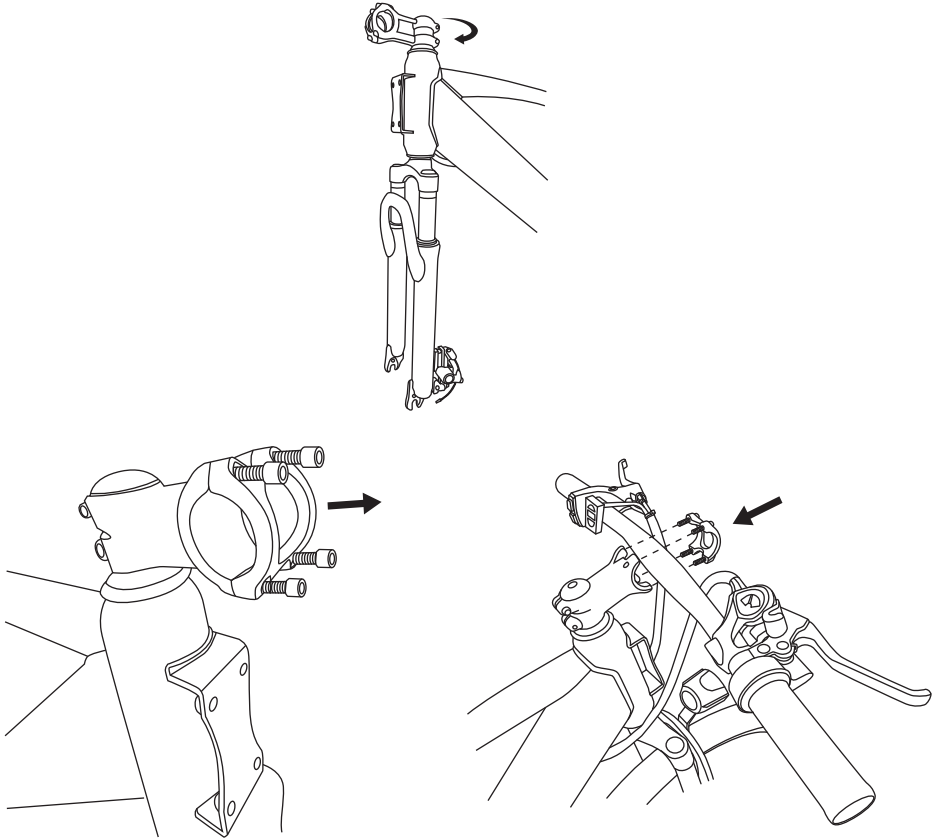
- | | | |
|-----------------|----------------|------------------|
| 1. ハンドル | 7. サドル | 13. リアディレイラー |
| 2. 可調ステム | 8. サドルクイックリリース | 14. バッテリー |
| 3. フロントライト | 9. リアタイヤ | 15. コントローラー |
| 4. フロントフォーク | 10. モーター | 16. チェーン&クランクセット |
| 5. フロントディスクブレーキ | 11. リアディスクブレーキ | 17. ペダル |
| 6. フロントタイヤ | 12. フリーホイール | 18. スタンド |

1.3.3仕様

モデル番号	C3 26インチ 電動自転車
モーター	48V DC リヤ駆動 ブラシレスモーター
バッテリー	18650 リチウム電池
走行可能距離	ペダルアシスト時: 70-80 km
最高速度	24 km/h
充電時間	4時間
充電器アダプター	DC 48V 2A 充電器
充電電圧	AC 110-240V / 50-60 Hz
ブレーキ	フロント/リア ディスクブレーキ
ディスプレイ	LCD スマートディスプレイ
フレーム材質	高炭素鋼
ディレイラー	シマノ 7段変速
チェーン	防錆チェーン
最大積載量	150 kg
ネット重量	23 kg

2. 組み立て及び調整

2.1 ハンドル及びステムの組み立て



ステップ1: 自転車のステムを180°前方に回転させてください。

ステップ2: ステムから4本のネジを外します。

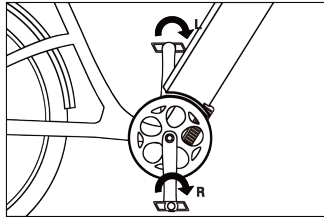
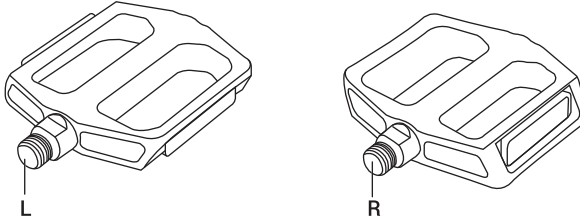
ステップ3: 適切な順序でハンドルを自転車に取り付け、全てのネジを締め付けてください。

2.2 ペダルの取り付け

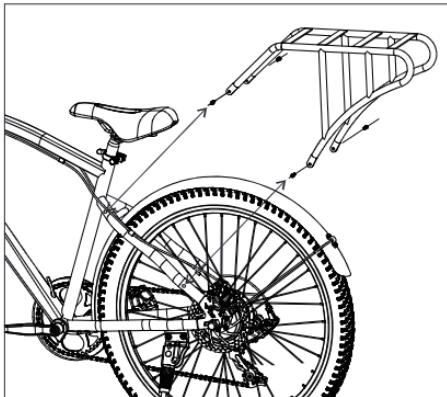
- ペダルの識別:ペダルに記載されている「L」または「R」の文字を確認してください。
- 「R」と記されたペダルは右側用です(前向きに進む方向)。クランクへの取り付けは、時計回りに締めます。
- 「L」と記されたペダルは左側用です。取り付けは、正面から見て反時計回りに締めます。

警告:

ペダルは最初に手でねじ込み、その後、付属のレンチで締めてください。

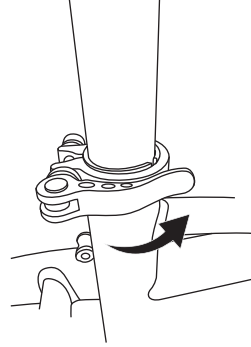
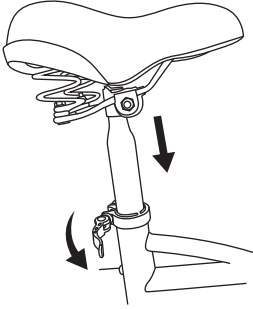


4mmの六角レンチを使用して、リアキャリアのネジをしっかりと締め付けてください。



2.3 シートポスト位置

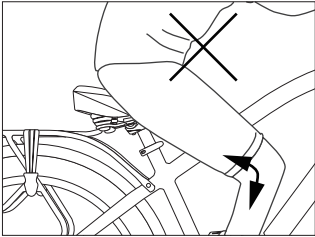
調整ナットを手で締め、クイックリリースレバーを閉じる位置に動かします。レバーを閉じるとき、かなりの抵抗を感じるはずです。そうでない場合は、レバーを開き直し、ナットを再度締めてから、レバーをフレームと一直線になる閉じる位置に動かしてください。



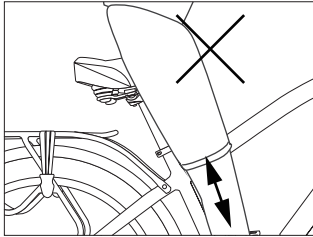
2.4 サドルの高さ

快適で疲れず、安全な走行を可能にするためには、ライダーの体格に合わせてサドルとハンドルの高さを調整する必要があります。

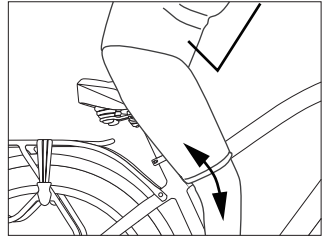
クランクサイクルの最下点で足の裏全体がペダルに載っている状態で、脚がほぼ完全に伸びている場合、サドルの高さは正しいです。つま先はまだ地面に快適に触れることができる必要があります。



低すぎる



高すぎる

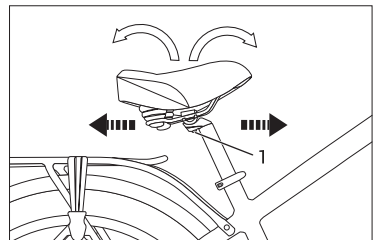


最適

2.5 サドルの調整

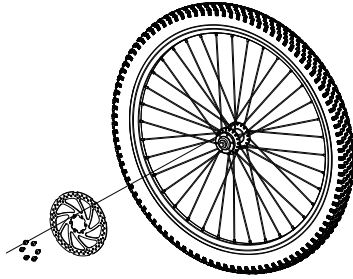
サドルは、前後方向への傾きや位置も調整できます。

- 下部のボルト(1)を緩めます。
 - サドルの前部または後部を押し下げてサドルの傾きを調整します。
 - サドルを前後に動かして、腕/胴体の長さとお希望の走行姿勢に合わせて調整します。
- ボルト(1)を締めてサドルを固定します。

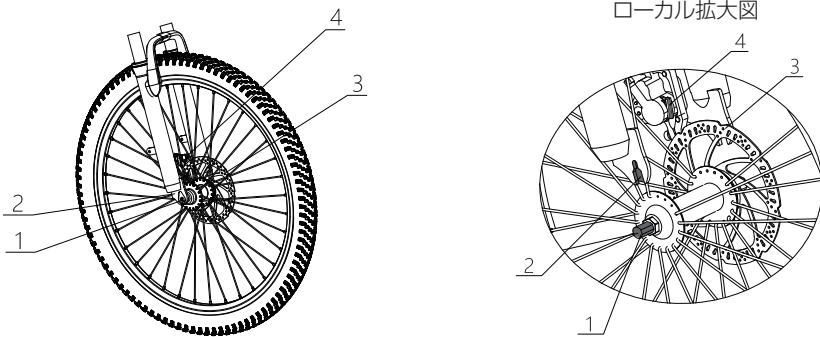


2.6 前輪の取り付け

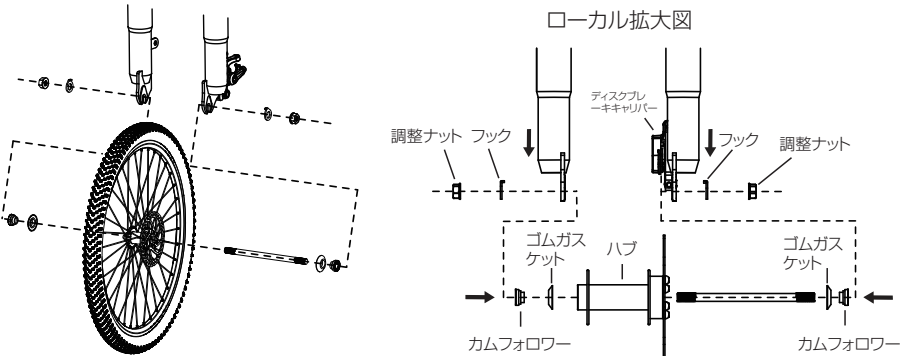
4 mm 六角レンチでディスクブレーキパッドの6本のネジを締めてください。



図のように、逆さにしたフロントフォークにフロントホイールを取り付けてください。フロントホイールを所定の位置に設置し、アキシャル(1)がフロントフォークの穴(2)に、ブレーキディスク(3)がブレーキキャリア(4)に正しく収まっていることを確認してください。

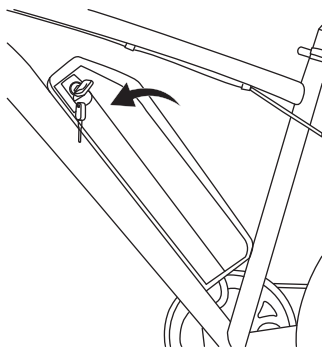


右図に示す通りです。ハブに近い側にゴムガスケットとカムフォロワーを配置します。次に、前輪の軸を挿入し、フックを合わせ、最後にナットを締めてください。



3. バッテリー及び充電器

3.1 バッテリーの取り付け・取り外し

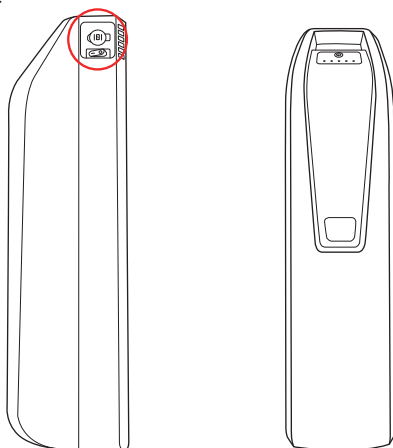


キーを回してバッテリーのロックを解除します。バッテリーを取り外すには、バッテリーボックスにあるロックを外します。バッテリーを引き抜いて取り外します。

警告:

1. 使用前に、バッテリーが確実に固定されていることを確認してください。
2. 感電や人身事故を防ぐため、充電ポートの上に他の金属製の物を置いたり、充電ポートに他の金属製の物を挿入したりしないでください。

充電ポート



バッテリーは電動自転車に装着したまま直接充電することもできます。

3.2 充電方法

警告:

1. バッテリーの充電中は決して目を離さないでください。
2. バッテリーは、熱源、湿気、可燃物から離れた、非可燃性で乾燥した表面の、周囲温度環境で充電する必要があり、決して覆わないでください。

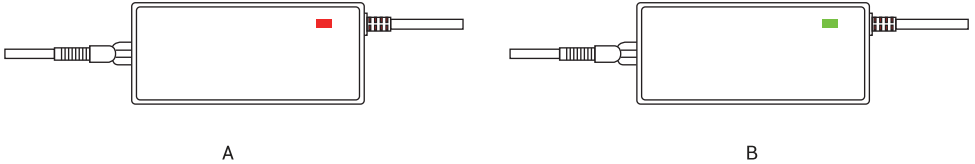
バッテリー充電時に従うべき手順は以下の通りです:

ステップ1 バッテリーの電源を切ります。LEDライトは消えます。

ステップ2 充電器をコンセントに差し込み、次にバッテリーの電源が切れている状態で充電器のプラグをバッテリーに差し込みます。

ステップ3 充電器のLEDインジケータは以下のように点灯します:

- 赤色LEDが点灯している場合、バッテリーは充電中です。(A)
- 赤色LEDが緑色に変わると、バッテリーは満充電です;その後、充電器を抜いてください。(B)



バッテリーが空の場合、自転車に付属の標準充電器を使用して完全に充電するには4時間かかります。

警告:

華氏32°F(摂氏0°C)以下または華氏140°F(摂氏60°C)以上の温度での充電は、バッテリーの充電不足を引き起こし、バッテリーの寿命に有害である可能性があります。充電中、充電器のLEDライトは連続して赤く点灯します。充電器のLEDが緑色に変わると充電完了です。

3.3 バッテリーの走行距離と寿命

3.3.1 走行可能距離

自転車の走行可能距離は、様々な要因(使用するアシスト度合い、地形、ライダーの体重、頻繁な停止/発進、坂道、タイヤ空気圧など)により、25~55キロメートルの範囲になります。バッテリー効率を高めるには、常にペダリングしながら走り始めてください。

3.3.2 バッテリー

自転車のバッテリーは、家庭用のバッテリーと同様です。限られたサイクル寿命を含んでおり、それは寿命を通して消耗するにつれて減少します。利用可能な走行距離がもはやお客様のニーズを満たさなくなった場合、バッテリーを交換する必要があります。

3.3.3 メンテナンス

自転車を2ヶ月を超える期間使用しない場合は、電子部品を保護するために湿気のない場所に保管し、バッテリーが完全に放電されていないことを確認してください。

注記:

- 1.完全に放電したバッテリーを保管すると、永久損傷につながる可能性があるため、決して保管しないでください。
- 2.冬期や長期保管期間中は、2ヶ月ごとにバッテリーを半分程度充電することをお勧めします。電源を切ることを忘れないでください。

バッテリーは摂氏15度から25度の温度で保管してください。

警告:

3.3.4 バッテリー安全上の注意

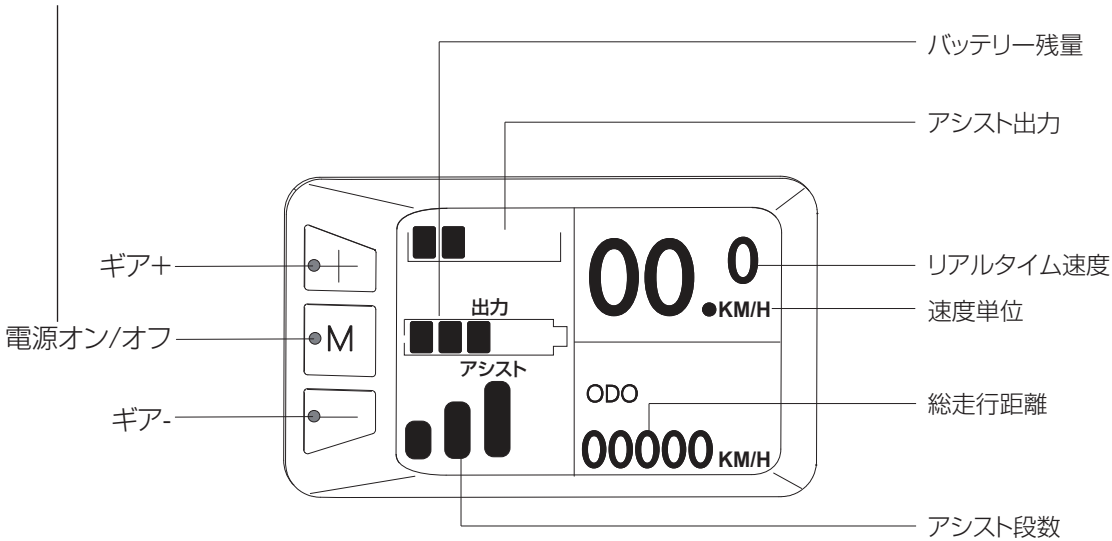
自転車のバッテリーは化学元素で構成された電気部品です。安全のために、以下の規則を必ず守ってください:

- A: 常に細心の注意を払って取り扱ってください。
- B: 常に子供の手の届かないところに保管してください。
- C: 分解、打撃、穿孔、または水没させないでください。
- D: 摂氏60度を超える温度から離してください。
- E: バッテリー底面にある接点間で接続を作らないでください。
- F: バッテリーの充電中は決して目を離さないでください。
- G: 充電中のバッテリーの近くで決して寝ないでください。
- H: 自転車に付属または販売店から供給された充電器のみを使用してください。
- I: バッテリーが破損している場合は、使用しないでください。

4. ディスプレイ

4.1 外観

デバイスの電源を入れる/切るには、3秒間長押しする必要があります。



4.2 機能説明と設定画面

機能説明

1. 「M」キーを2秒間長押しで電源のON/OFFを切り替えます。電源ON時にはメーターのすべてのアイコンが点灯し、自己診断を行います。操作がない状態で20分経過すると自動的に電源がOFFになります。

2. 電源ON後、「M」キーを短押しすると、マルチメディア表示エリアの表示モードが切り替わります。デフォルトは「ODO」（総走行距離）表示画面です（全5種類の表示モード）。

- ODO: 総走行距離
- TRP: トリップ(1回の走行距離)
- VOL: 現在の電圧
- CUR: 現在の電流
- T1: 連続稼働時間

3. 電源ON後、デフォルトは「0」段です。この時、段位表示アイコンは点灯しません。「0」段時には、スロットル(ハンドルグリップ加速)とアシストパワーは作動しません(注:0段でも押し歩きアシスト機能は作動します)。

- 4.「+」キーを長押しで、フロントライトとテールライトのON/OFFを切り替えます。
- 5.「+」キーを1回押すごとに段位が上がり、「-」キーを1回押すごとに段位が下がります。
- 6.設定モード中は、「+」キーまたは「-」キーを長押しすると、数値が素早く増減します。
- 7.電源ON状態で「-」キーを長押しすると、押し歩きアシストモードに移行し、対応アイコンが点灯します。キーを離すと解除されます。
- 8.電源OFF状態で「M」キーを押して電源ONとし、そのまま10秒間押し続けると、工場出荷時の設定にリセットされます。リセット成功時はメーター表示が一瞬点滅します。

設定画面説明

- 1.「+」キーと「-」キーを同時に長押しすると、設定モードに入ります。設定画面で10秒間操作がないと、設定内容を保存して自動的に設定画面から退出します。もう一度「+」キーと「-」キーを同時に長押ししても、設定内容を保存して設定モードを終了します。
- 2.設定画面中、「M」キーで設定項目(画面)を切り替え、「+」キーまたは「-」キーで設定数値を変更します。

警告:

デフォルト設定を変更すると、自転車が正常に機能しなくなる可能性があります。

4.3 故障警告コード説明

各エラーコードは、システム内の特定の故障に対応しています。エラーを解決するには、またディスプレイについてまだ質問がある場合は、下記にお問い合わせください。

mokbike.service@outlook.com

- E001: MOS 故障、過電流保護
- E002: スロットル故障
- E003: ブレーキ故障
- E005: ホールセンサー故障
- E006: 低電圧保護
- E008: コントローラー受信故障
- E009: メーター受信故障

5. 推奨事項及びメンテナンス

5.1 一般的な要件

電動自転車は電子部品を覆う金属外殻を使用しているため、過度の水を使用して外殻とその周辺部品を洗うことは強くお勧めできません。中性洗剤を付けた柔らかい布で外殻の汚れを拭き取ってください。その後、きれいな柔らかい布ですべてを乾拭きしてください。

高圧水やエアホースを使用した清掃はしないでください。これにより水が電気部品内部に押し込まれ、故障の原因となる可能性があります。

プラスチック部品を過度の水で洗わないでください。内部の電気部品が水の影響を受けると、絶縁体が腐食し、電力消費やその他の問題を引き起こす可能性があります。

金属部品を石鹼液で洗わないでください。非中性の溶液は変色、歪み、傷などの原因となる可能性があります。

自転車を屋外に放置しないでください。

乗らないときは、雪、雨、日光などから保護される場所に自転車を保管してください。雪や雨は自転車を腐食させる可能性があります。太陽からの紫外線は、塗装の不要な退色や自転車のゴム・プラスチック部分のひび割れを引き起こす可能性があります。

推奨トルク値

箇所	ニュートンメートル	フィート・ポンド
前輪ナット	22-27 ニュートンメートル	16.2-19.8 ft.-lb.
後輪ナット	24-29 ニュートンメートル	17.5-21.3 ft.-lb.
シートポストクランプボルト	12-17 ニュートンメートル	8.8-12.5 ft.-lb.
シートポスト固定ナット	15-19 ニュートンメートル	11.0-14.0 ft.-lb.
ブレーキアンカーナット	7-11 ニュートンメートル	5.1-8.1 ft.-lb.
ハンドルクランプナット	17-19 ニュートンメートル	12.5-14.0 ft.-lb.
ヘッドセットエキスパンダーナット	17-19 ニュートンメートル	12.5-14.0 ft.-lb.
クランクコッターピンナット	9-14 ニュートンメートル	6.6-10.3 ft.-lb.
ブレーキセンターボルト	2-17 ニュートンメートル	1.5-12.5 ft.-lb.

5.2 メンテナンススケジュール

電動自転車を最適な状態に保ち、快適な走行体験を維持するために、推奨されるメンテナンススケジュールに従うことを強くお勧めします。これを学習し、走行時の習慣として身に付けてください。

メンテナンス項目	毎回の乗車前	週1回	月1回	6ヶ月ごと	年1回
タイヤ空気圧	X				
タイヤ状態	X				
外観点検	X				
ブレーキレバーの作動圧	X				
クイックリリース	X				
ハンドルの位置合わせ	X				
サドルの位置合わせ	X				
バッテリーパックのロック確認	X				
ホイールチェック	X				
フレーム状態の点検 (溶接部の亀裂を含む)		X			
チェーンの清掃・注油		X			
ブレーキパッドのチェック		X			
フォークの注油			X		
ブレーキケーブルの注油			X		
折り畳みメカニズムの注油			X		
すべてのボルトとトルク 設定の確認			X		
自転車の清掃			X		
バッテリー充電			X		
ホイールスポークのチェック			X		
リム状態の点検			X		
サドル、レール、クランプの点検			X		
ペダルベアリングのグリース				X	
ハブベアリングのチェック				X	
ヘッドセットベアリング のチェック				X	
ボトムブラケットベアリ ングのチェック				X	
ブレーキパッドの交換					X
ブレーキケーブルの 交換(使用状況による)					X
タイヤの交換(使用状況による)					X

警告:

すべての機械部品と同様に、電動アシスト自転車(EPAC)は摩耗と高いストレスにさらされます。異なる材料や部品は、摩耗や応力疲労に対して異なる反応を示す場合があります。部品の設計寿命を超えた場合、突然故障し、ライダーに怪我を負わせる可能性があります。高ストレスがかかる領域における亀裂、傷、または変色のいずれかの形態は、部品の寿命に達したことを示しており、交換されるべきです。

5.3 改造の定義と推奨事項

カテゴリー1	カテゴリー2	カテゴリー3	カテゴリー4
自転車メーカー/電子システム提供者の承認後にのみ交換可能な部品	自転車メーカーの承認後にのみ交換可能な部品	自転車または部品メーカーの承認後にのみ交換可能な部品	承認なしで交換可能な部品
モーター	フレーム	クランク	ヘッドセット
センサー	フォーク(サスペンション含む)	ハブモーター非装着ホイール	ペダル(オリジナルと同じ幅のもの)
コントローラー	ハブモーターホイール	チェーンまたはベルト(オリジナル幅のもの)	ディレイラー
電気ケーブル	ブレーキシステム	リムテープ	シフター
ハンドル上のコントロール	ブレーキシュー	タイヤ(オリジナルETRTO規格のもののみ)	シフト内/外ケーブル
ディスプレイ	荷台(キャリア)		チェーンリング/ベルトドライブリング
バッテリー	ボトムブラケット	機械式/油圧式ブレーキケーブル	カセット/フリーホイールまたはコグ(オリジナルと同じコグの場合)
バッテリー充電器		ブレーキシステム(ドラム、ディスク、ローラーブレーキ用)	チェーンケース
		ハンドルとステム(ハンドルとステムへの変更なし)	マッドガード(オリジナルと同じサイズで、タイヤから少なくとも10mm離して取り付けられたもののみ)
		サドルとシートポスト(オリジナルからの最大変動は20mmを超えないこと)	スポーク、インナーチューブ、ダイナモ、フロントライト/フロントリフレクター、リアライト/リアリフレクター、ホイールリフレクター、キックスタンド、グリップ(ネジクランプ式のみ)

警告:

フォークやフレームなど、自転車のいずれかの部分への改造は、その部分または自転車全体を安全でなくする可能性があります。不適切に取り付けられた、または改造された部品は、他のすべての部品にかかるストレスを増大させ、それらの故障の可能性を大幅に高めることがあります。改造はまた、自転車の操縦性に悪影響を与え、コントロールの喪失、転倒、重大な怪我につながる可能性があります。訓練を受けた自転車技術者に相談せずに、いかなる方法でも自転車の部品を追加、取り外し、または改造しないでください。改造や部品の追加を行う前に、その安全性とお客様の自転車との互換性を確認するため、当社にご相談されることをお勧めします。

保証とアフターサービス

件名の例:

【Amazon-1234567890-パッケージ紛失】
プラットフォーム-注文番号-問題

本文:

ここに問題を記述してください

問題をより理解するために、画像を添付していただくことができます。

現在の状況をより迅速かつ正確に理解し、最適な解決策を提供するため、問題を説明する画像を送信してください。

ご注文いただいた製品は慎重に検査され、完全に動作することが保証されています。保証は、欠品、部品の損傷、パッケージ紛失、すべての製造上の欠陥および機械的欠陥をカバーします。ただし、事故や過失による故障や劣化は対象外です。この保証書があれば、Amazon、当社ウェブサイトなどのプラットフォームでサービスを受けることができます。メールの件名にプラットフォームと注文番号を記載してください。

防犯登録に必要な販売証明書の作成には、注文番号、車体番号(自転車のハンドルの正面にある番号)、購入者のお名前・ご住所・ご連絡先などのお客様情報が必須となります。車体番号の具体的な位置が不明な場合は、アフターサービスセンターにお問い合わせください。

お困りの際は、まず当社までご連絡ください。

mokbike.service@outlook.com